APAN オンライン協議 (Exchange Series)

アジア太平洋地域適応ネットワーク(APAN)気候変動適応オンライン協議(Exchange Series)は電子メール・ベースでの協議であり、環境省(MoEJ)の支援を得て地球環境戦略研究機関(IGES)が運営するものである。Exchange Series は経験に基づいた知見を集約、統合、共有した上で、APANネットワークのコミュニティー・メンバーの知識強化を目指して政府関係者や主要なプラクティショナーがオンライン上で知識を得るために専門家とあるいはメンバー間での対話を可能にしたものである。

平成25年から28年までに13回のAPANオンライン協議が実施されてきたが、協議の題目は同時期に開催される主要イベントのテーマと関連付けられてきた。これまでの題目を以下にリスト・アップする。すべての協議テーマとオンライン協議に関する情報は **http://www.asiapacificadapt.net/exchange** からアクセス可能となっている。

1. **マジュロ宣言ー気候変動ファイナンスの展望**
   平成25年9月11日ー9月25日
2. **COP19、緑の気候基金(GCF)とビジネスによる関与**
   平成25年10月31日ー11月29日
3. **「レジリエンス」は「適応」のオペレーショナルな代替手段か?**
   平成26年3月10日ー4月2日
4. **現実的な適応ファイナンスをNAPプロセスに盛り込む**
   平成26年5月21日ー6月18日
5. **気候変動ファイナンスを獲得し管理していくための国内システムを強化する**
   国連開発計画(UNDP)との協力により実施
   平成26年8月29日ー9月13日
6. **緑の気候基金(GCF)の資本化と2015パリ協定成功にむけた展望**
   平成26年12月2日ー平成27年1月9日
7. **適応へのジェンダー主流化:例と経験**
   平成27年3月12日ー3月27日
8. **都市部での適応とレジリエンスに対する資金繰り**
   平成27年6月16日ー6月25日
9. **何があなたにとっての適応優先事項なのか? 例と経験**
   平成27年8月5日ー8月20日
10. **気候変動ファイナンスへのアクセスのための効果的な能力向上:例と経験**
    平成27年11月5日ー11月18日
11. **ジェンダーの統合がどのようによりよい気候変動適応につながるか**
    平成28年3月22日ー3月31日
12. **ドナー主導のプログラムから生じるインパクトの持続性を確保する:例と経験**平成28年6月20日ー7月4日
13. **優良プロジェクトの準備と気候変動資金へのアクセスのための能力向上**平成28年11月15日ー12月2日

気候変動適応の立案に携わるアジア・太平洋地域の中央および地方政府職員、適応のプラクティショナー、開発パートナー等の加入者に向けて適応のエキスパートが質問を提示し、APANオンライン協議は平成29年度に3回(第14回ー16回)実施された。Exchangeの３テーマはそれぞれポストCOP23、適応と気候変動影響評価についてのIGES適応ワークショップ、そして気候変動適応へのジェンダー主流化にとって適切なものが選ばれた。

第14回APANオンライン協議は、ピーター・キング（Peter King）博士による進行で「アジア太平洋地域における気候レジリエンスの向上にNAPs、NDCs、SDGsをどう活かすか？」と題し、平成30年1月に実施された。適応計画の策定における各国のニーズを開発パートナーが支援すること、そしてNAPs,とNDCsを首尾よくかつ効果的に実施するためにこのExchangeはパリで開催されたCOP23の成果を狙って実施され、アジア・太平洋において気候レジリエンスを促進していくためにはSDGsを含むこれらのプロセスを我々はどのように活用していくべきなのかということを協議した。 集約されたレスポンスは以下のリンクに整理され閲覧が可能となっている。
http://www.asiapacificadapt.net/exchange/14th-exchange-series

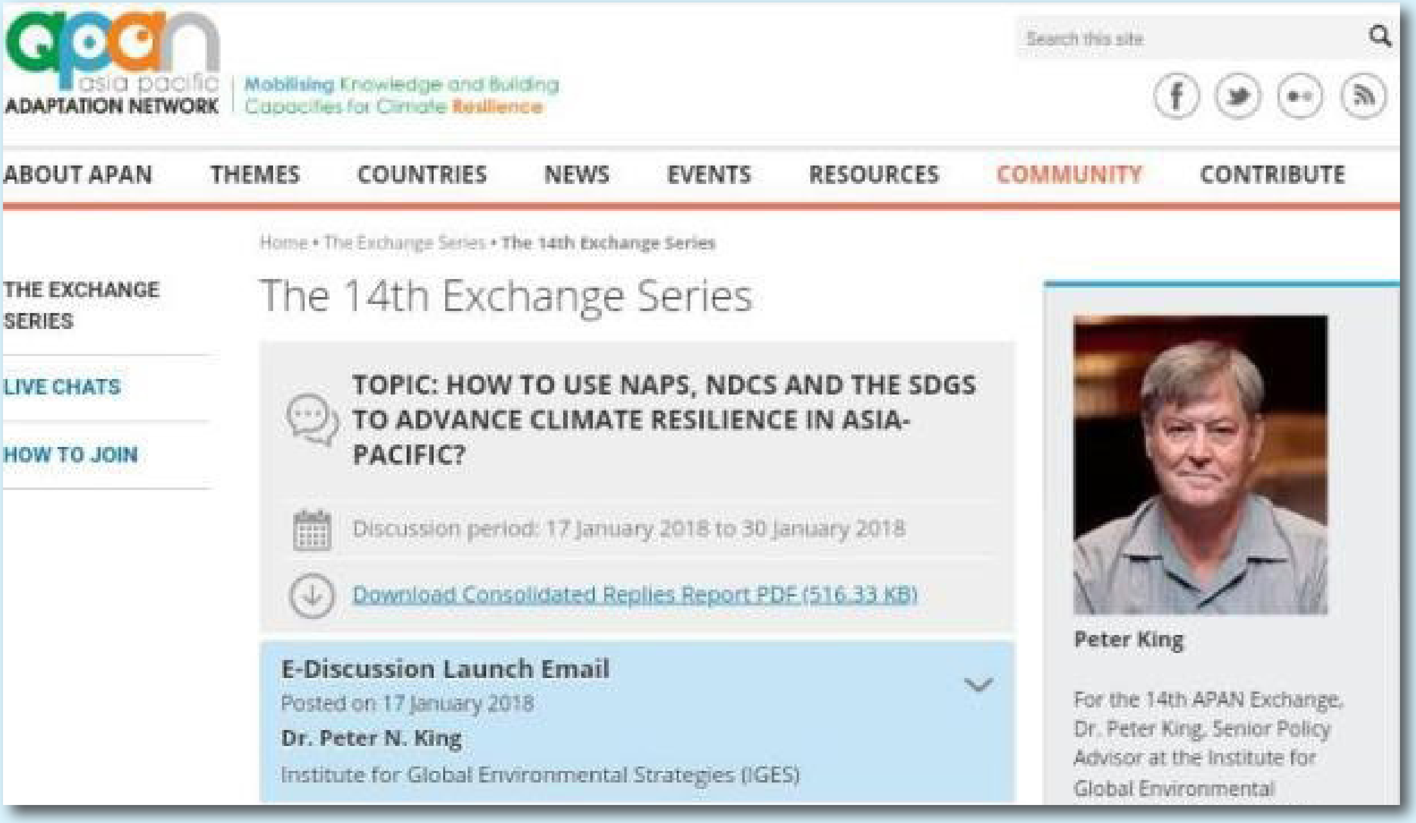
第15回APANオンライン協議は、ピーター・キング（Peter King）博士とシビル・ネルソン (Sibyl Nelson)により「気候変動適応プログラム及び政策へのジェンダー主流化」と題し平成30年3月に実施された。このExchangeは男女の共同参画 (gender equality) における問題点と分析、そしてジェンダーの課題を気候変動適応計画へ適切に統合していくことをAPANネットワークのコミュニティー・メンバーに促す目的で「国際女性デー」に合わせて開催されたもので、協議の期間中7名の投稿者が識見を共有した。集約されたレスポンスは以下のリンクに整理され閲覧が可能となっている。
http://www.asiapacificadapt.net/exchange/15th-exchange-series

第16回APANオンライン協議は、ピーター・キング（Peter King）博士とタガロア・クーパーヘイロ (Tagaloa Cooper-Halo)により「小島嶼開発途上国 (SIDs) における気候変動影響評価と適応計画」と題し、平成30年３月に実施された。今回のExchangeはこれまでのExchangeでは包括的に扱う機会のなかった太平洋の島々における気候変動適応の重要性に焦点をあてると同時に、国や地方そしてセクタ ー・レベルでの気候変動適応の事例を促すIGES適応ワークショップのテーマに沿って実施された。集約されたレスポンスは以下のリンクに整理され閲覧が可能となっている。
http://www.asiapacificadapt.net/exchange/16th-exchange-series

平成29年度に実施された APAN オンライン協議

No.	題目	日付	ファシリテーター
1	第14回APANオンライン協議 アジア太平洋地域における気候レジリエンスの向上にNAPs、NDCs、SDGsをどう活かすか？	平成30年1月17日ー30日	ピーター・キング博士
2	第15回APANオンライン協議 気候変動適応プログラム及び政策へのジェンダー主流化	平成30年3月８日ー22日	ピーター・キング博士、シビル・ネルソン
3	第16回APANオンライン協議 小島嶼開発途上国 (SIDs) における気候変動影響評価と適応計画	平成30年3月22日ー4月3日	ピーター・キング博士、タガロア・クーパーヘイロ

第14回オンライン協議 (APAN Exchange Series)：
アジア太平洋地域における気候レジリエンスの向上にNAPs、NDCs、SDGsをどう活かすか？



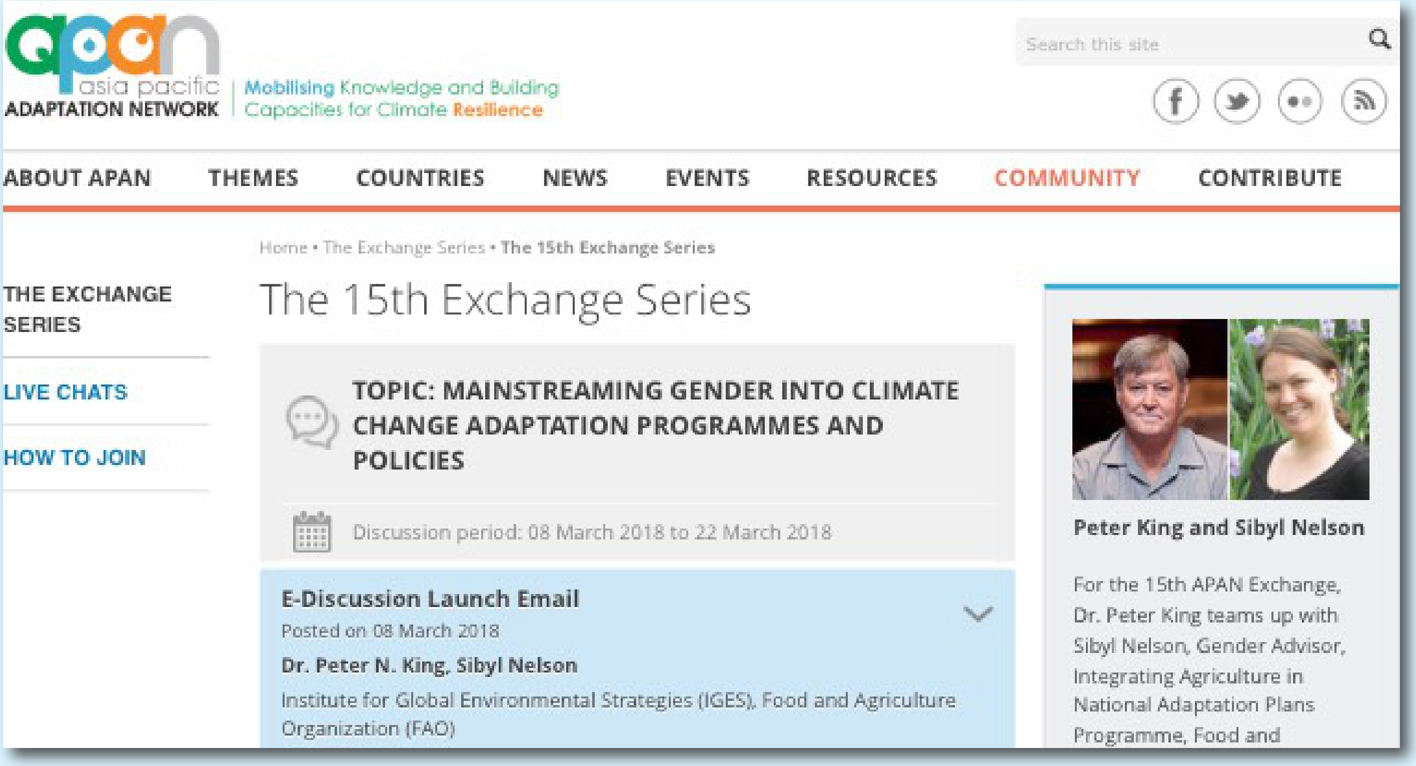
第14回APANオンライン協議（電子メール・ベース）は、IGESのピーター・キング（Peter King）シニア政策アドバイザーによる進行で「アジア太平洋地域における気候レジリエンスの向上にNAPs、NDCs、SDGsをどう活かすか？」と題し平成30年1月17日ー31日に実施されIGESのショウシュー・テイワボリハーンラグン (Chochoe Devaporihartakula) プログラム・マネージャーが進行役を務めた。

今回の協議ではタイ国経済社会開発局（NESDB）とモンゴル環境・観光省からの投稿があった。また天然資源研究センター (CNRS)、気候アクション・ネットワークーインターナショナル (CAN)、地球環境戦略研究機関（IGES）、USAID Adapt アジア太平洋キャパシティー・ビルディング前チームリーダー等、適応の専門家からも意見が共有された。

パリ協定を笠に適応への野心を引き上げていく必要があること、またNAPsとNDCsはSDGsと整合性を保つべきであることに対しAPANネットワークのコミュニティー・メンバーの多くが同意を示した。さらにEUの例を参考にSPREPやASEANのような地域組織から可能な支援を得て気候変動へのレジリエントな開発を強化していくためにはNAPs、NDCs、SDGsの相乗的プログラムやプロジェクトから学ぶべきものがあり、緩和と適応の両方をカバーした地域のNDCを策定するといった提案も出された。

オンライン上での協議をまとめた報告書はアジア太平洋地域適応ネットワークのウェブサイトに掲載され、以下のサイトからアクセス可能となっている。
http://www.asiapacificadapt.net/exchange/14th-exchange-series

第15回 オンライン協議 (APAN Exchange Series)：
気候変動適応プログラム及び政策へのジェンダー主流化



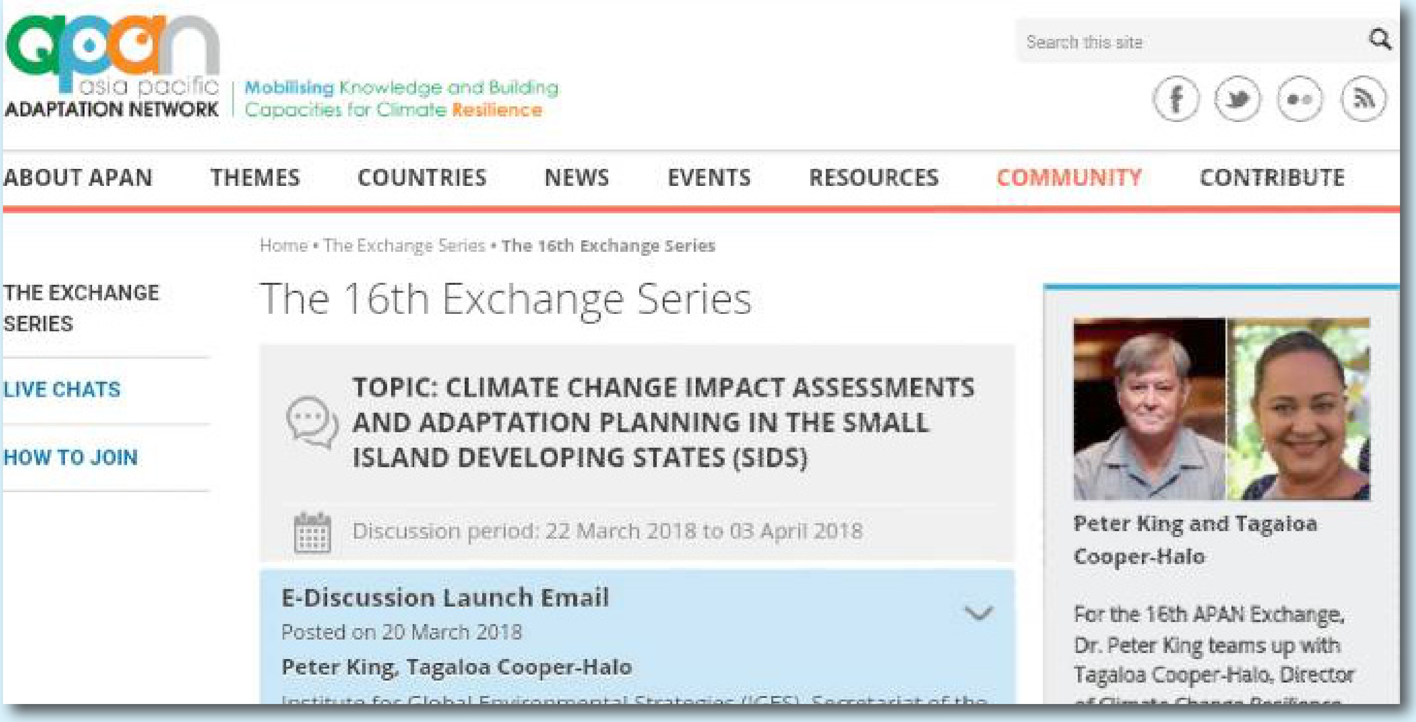
気候変動適応に関する課題について電子メール・ベースで意見を交わすAPAN オンライン協議の第１５回目が「気候変動適応プログラム及び政策へのジェンダー主流化」と題し、平成30年３月８日～２２日に実施された。今回のオンライン協議は男女の共同参画 (gender equality) における問題点と分析、そしてジェンダーの課題を気候変動適応計画へ適切に統合していくことをAPANネットワークのコミュニティー・メンバーに促す目的で「国際女性デー」に合わせて開催された。この第15回APANオンライン協議は地球環境戦略研究機関（IGES）のピーター・キング（Peter King）シニア政策アドバイザーと国連食糧農業機関 (FAO) のシビル・ネルソン (Sibyl Nelson) ジェンダー・アドバイザーが議論の調整を担い、IGESのショウシュー・テイワボリハーンラグン (Chochoe Devap-orihartakula) プログラム・マネージャーが進行役を務めた。

今回の協議には水、健康、環境を含む数々のセクターを代表してDAI　(USAIDのパートナー)、国連環境計画 (UNEP)、女性のためのアジア太平洋リソース・研究センター　(ARROW)　、アメリカ人口情報局　(US　Population　Ref-erence Bureau)、バングラデシュ水資源パートナーシップ (BWP)、国際下痢症研究センター (icddr,b) 、国連アジア太平洋経済社会委員会　(ESCAP)　から踏み込んだ意見が多数寄せられた。インプットとして共有された実例は多岐に渡り、また男女の共同参画を後押しする励ましの言葉や今後向き合っていかなければならないチャレンジについても触れられていた。

協議を通じて適応計画の立案において有用となるジェンダーの重要課題について投稿者から数多くの見解が共有された。寄せられた問題提起の中には気候変動が女性と男性に対しどのように異なった影響を与えるのか、それゆえ適応対策は男女の生産性や生物学上における役割の違い、つまり異なるニーズと脆弱性を考慮する必要がある、といった意見が出された。また女性、地方政府など各々のアクターが能力を兼ね備え適応計画の立案へ積極的に参加していくことにより多様な意見や展望を取り入れていくことの重要性が確認された。

オンライン上での協議をまとめた報告書はアジア太平洋地域適応ネットワークのウェブサイトに掲載され、以下のサイトからアクセス可能となっている。
http://www.asiapacificadapt.net/exchange/15th-exchange-series.

第16回 オンライン協議 (APAN Exchange Series)：
小島嶼開発途上国 (SIDs) における気候変動影響評価と適応計画



気候変動適応に関する課題について電子メール・ベースで意見を交わすAPAN オンライン協議の第16回目が「小島嶼開発途上国 (SIDs) における気候変動影響評価と適応計画」と題し、平成30年３月22日～4月3日に実施された。今回はこれまでのオンライン協議では包括的に扱う機会のなかった太平洋の島々における気候変動適応の重要性に焦点をあて開催された。この第16回APANオンライン協議ではIGESのピーター・キング（Peter King）シニア政策アドバイザーと太平洋地域環境計画事務局 (SPREP) のタガロア・クーパーヘイロ (Tagaloa Cooper-Halo) 気候変動レジリエンス部長が議論の調整を担い、IGESのショウシュー・テイワボリハーンラグン (Chochoe Devaporihartakula) プログラム・マネージャーが進行役を務めた。

太平洋地域におけるファシリテーターのスケジュール調整に遅れが生じたことにより第16回オンライン協議の開始が延期され現在も継続中となっている。これまでにモルディブの環境エネルギー省職員そして国際自然保護連合 (IUCN) パートナーから2投稿を集めている。

オンライン協議の中で投稿者がとりわけ強調していたことはモルディブと太平洋島嶼国 (PICs) は国別適応行動計画 (NAPA) のみを策定し国家適応計画 (NAPs) については採択していない、もしくは国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) のウェブサイトに掲載されていない、ということであった。適応プロジェクトはNAPAで明言された優先事項に沿って実施されており、キリバスやツバルなどいくつかの太平洋島嶼国では土地取得や埋め立てがすでに進められている。そのような状況でも未だ明確な答えが出されていないのが、国、地域、国際レベルにおける現在のプロセスの中で気候変動の影響がすでに発生している小島嶼開発途上国が本当に必要としている変革をもたらすだけの充分なアクションがとられているのか、ということである。

オンラインの回答はアジア太平洋地域適応ネットワークのウェブサイトに掲載され、以下のサイトからアクセス可能となっている。

http://www.asiapacificadapt.net/exchange/16h-exchange-series.

APANについて

asia pacific
ADAPTATION NETWORK

アジアアジア太平洋適応ネットワーク（APAN）は、適応に関する知識を地域で管理し応用するための地域プログラムであり、知識の管理と能力向上に特に重点を置きながら、適応に取り組む政府その他の機関を支援している。

APANはバンコクにある地域拠点を通じて運営されている。中核パートナーは地球環境戦略研究機関（IGES）、アジア工科大学（AIT）のアジア太平洋地域資源センター（RRC.AP）、ストックホルム環境研究所（SEI）である。国連環境計画アジア太平洋地域事務所（UNEP　ROAP）は運営委員会の事務局を担うとともに、APANへの技術的助言や情報を提供する役目も果たしている。

APAN ウェブサイト

http://www.asiapacificadapt.net/

APANウェブサイトは平成25年1月に始動した。以来、多少の変更はあったものの、大きな改変はされていない。

APANのウェブサイトには、出版物から地域ニュースまでCCA関連の幅広いコンテンツが3,000件以上掲載されており、各コンテンツは検索して見つけやすいように分類されている。

平成29年にはAPANのウェブサイトに17199,のユーザーがアクセスし、40,000を超えるプレビューを提供した。

APANウェブサイトのセクション

- **News:** さまざまなオンラインソースから得た地域のCCA関連ニュース
  http://www.asiapacificadapt.net/news
- **Events:** さまざまなソースから得た地域のCCA関連イベント情報
  http://www.asiapacificadapt.net/events
- **Publications:** ユーザーの投稿を含むさまざまなソースから得たCCA関連の公表資料
  http://www.asiapacificadapt.net/resource
- **NDC Adaptation Measures Locator:** アジア太平洋地域位34ヵ国のNDCs, NAPAs, NAPプロセスの横断的分析
  http://www.asiapacificadapt.net/ndc
- **The Exchange Series:** エクスチェンジ・シリーズ（Eメールによる実務者間の意見交換）に関する投稿や記事。エクスチェンジ以外に、過去の実務者コミュニティの機能にはライブチャットやウェビナーも含まれる。
  http://www.asiapacificadapt.net/exchange
- **E-Communique:** 毎月の電子ニュースレター
  http://www.asiapacificadapt.net/e-communique
- **Adaptation Technology:** 適応技術のデータベース
  http://www.asiapacificadapt.net/adaptation-technologies/database